

高知県立林業大学校 卒業生同窓会会報

発行
高知県立林業大学校同窓会事務局
住所：香美市土佐山田町大平80
電話：(0887)52-0784



H28年度



H29年度



H30年度



H27年度



R元年度



同窓会会長をさせて頂いている、香美森林組合の芦田です。
本年は、林業界もコロナ禍の影響を大きく受ける中、同窓生の皆様におかれましては、それをものともせず、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、今年で発足五周年となる本同窓会ですが、昨年より学校の職員の方が事務局をしてくださるようになり、今回初めての会報を発行する運びとなりました。
私が卒業時に会長の任を受けてから現在まで、同窓会として年一回会合をもつより他は、特に活

ごあいさつ



同窓会会長
芦田広記
(基礎課程平成27年度卒)

動をしていない状態でした。
これからは会報の発行もきっかけとして、この貴重な横のつながりをより深め、旧交を暖めるだけでなく、同窓の皆様さらなるご活躍の役に立つような会にしていきたいと考えておりますので、皆様からご意見やご提案がいただけたら有り難く存じます。
今後ともご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。



林業大学の現況

林業大学校副校長

塚本 愛子

本校卒業生の皆様には、それぞれの分野でご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、本校の近況についてお知らせします。今年度は、基礎課程19名、専攻課程25名（森林管理11名、林業技術9名、木造設計5名）総勢44名の開校以来最大の研修生数となりました。年度当初は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により入校式は中止、5月初旬までは自宅学習やオンラインでの授業となるなど異例のスタートとなりましたが、カリキュラムの見直しにより遅れを取り戻し、3回目のインターンシップも予定どおり実施することができました。



また、今年度の校長特別講義（高知会場）は、県立美術館で開催中の隈研吾展のオープニングセレモニーにあわせて、11月3日の午後高知市内のホテルで開催しました。隈校長とゲストの方々との対談に加え、初めての試みとして本校をはじめとする四国3県の建築設計を学んでいる7校9チームによる設計ワークショップを実施しました。創意あふれる作品に対して隈校長からの確かなコメントをいただき大変意義深い時間となりました。

今後も、同窓会の皆様のより一層のお力添えをいただきながら本校の教育力の充実、向上に取り組んでまいりますので、引き続きご指導ご協力をお願いいたします。

卒業生同窓会会報の創刊に寄せて



林業労働力確保支援センター

前所長 津野 文明

高知県立林業大学の卒業生同窓会会報の創刊おめでとうございます。また、卒業生の皆様のご活躍をお喜び申し上げます。振り返りますと、平成27年4月に高知県立林業大学として開校され、学校運営全般に関わることになりました。

当時は、初めての経験で、手探りの面も多くあり、研修生にはご心配も多々おかけしました。幸い、研修への熱意と協力や、高知県のサポートにより、就業まで無事終えることができたことを、昨日のこのように思い出します。

今では、開校5年を越えられ、多くの卒業生が高知の林業や中山間地域のリーダーとして活躍をされ、その様子を様々なメディアで見聞きすることも多く、頼もしい限りです。

この会報が、同窓生がともにそれぞれを繋ぐ場として広く活用されること、皆様が、公私ともに安全最優先に気を配りながら、引き続き各位の職場や地域で大いに飛躍されることを期待します。

卒業生の近況報告

※基礎課程と専攻課程の両方を履修している場合は専攻課程の卒業年度を記載しています。

「あの人と一緒に仕事がしたい」と思われるチームリーダーを目指して

相原 晋

（基礎課程平成27年度卒）

私が林業をやろうと思い林業学校に入ったのは大阪の林業ガイダンスに行った時に某県のブースの人に「林業は危険な仕事だから君はやめた方がいいよ」と言われちょっと力チンときた事がきっかけでした。

そんなにならぬ林業はどんなものかと体験ツアーに行き感じたのは「これは基礎的な技術・知識がしっかりしてないとマジで死ぬかもしれん」という事でした。

そんな中、新しく林業学校ができるこの事でいきなり事業体に入るより、自分である程度技術・知識を身に付けておかないと一発アウトがあると思い入学しました。

それから自伐型林業で有名な明神林業に入り早5年目 林業学校で教わった知識と現場での経験を活かして今のところ大きな怪我もなく日々現場で作業しています。

出来ることや任せられることも増えていき後輩に教える様にもなりました。

次の目標は「あの人と一緒に仕事がしたい」と思われる様なチームリーダーになる事です。



香美森林組合から林業大学 校在校生へのエール

石田 史哉

(基礎課程平成28年度卒)

林業学校二期卒業の石田史哉です。香美森林組合に勤めて4年目になり、今年から造林班の班長をしています。まだまだ技術、知識、経験共に不足していますが、日々の仕事の中で高めていくと共に、班長としての責任感や信頼も高めていきたいです。とてもやりがいのある仕事なのでこれからも毎日楽しく頑張っていきたいと思います。

プライベートでは、2年くらい前に先輩の紹介で古民家を購入しました。

仕事帰りや休日には畑仕事や班でのジビエバーベキューなどを行ったり、雨の日で休みの時は自分好みの空間になるようちよつとしたDIYをして田舎暮らしを楽しく且つのんびりと過ごしています。

最後に、林業大学の在校生の皆様へ。

林業はやりがいがあり、楽しい職業ではありますが、自然相手なのでとても危険な職業でもあります。事故なく仕事ができるよう学校でしっかり基礎を身につけてください。

卒業後高知県の林業界を活性できるように授業や研修、頑張ってください。



やりがいを感じて楽しく
山仕事をしよう

中田 雄也

(基礎課程平成29年度卒)

私は小松林材で働いて2年目になります。小松林材は会社が安芸

市にあって、作業員8人の会社です。林産を主にやっているのですが、私はフォワーダでの運材や集材機、荷掛けなどを担当しています。2年目となり、最近では一人で仕事を任せられる事も増え、やりがいを感じています。最近ハマっているのは、PS4のAPEXです。休日や仕事終わりは、職場のお兄さんと一緒に、ゴルドランクになることを目指して日々励んでいます。



写真は、北川村野川の現場で朝、撮ったものです。カモシカのお尻から子供の顔が見えますが、出産しているところなんです。帰りには居なくなっていたので、無事産まれたようです。

山で仕事をしているとこんな現場に出くわしたり、松茸を取りに行ったり、ウナギ罟を仕掛けたりと様々な楽しみ方があります。

皆さんも、仕事を少しでも楽しんでみてください。

温かいまなざし

小野 泰斗

(森林管理コース平成30年度卒)

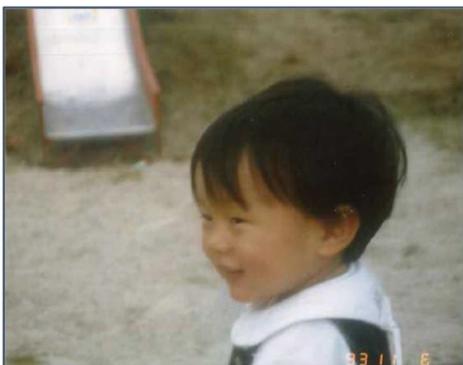
高知県立林業大学の卒業生の皆様、多忙な日々をいかがお過ごしでしょうか？

今回会報の発刊にあたり、記念すべき第一報の原稿を担当することになった、専攻課程第一期森林管理コース卒業の小野泰斗です。

現在私は、丸和林業大豊事業所において、持ち込まれたパルプ材を製紙・燃料用チップに加工する生産管理の仕事をしております。

当事業所から現場に近い方などは、何度か私を目撃されているかもしれませんが、ぜひ温かいまなざしで見守ってくださいと思います。

最後になりますが、次回の原稿を担当される方は頑張ってくださいませ。それでは。



可愛いでしょ？私と分かりますか。
(H5年11月6日撮影)

『り、林業?』

小笠原 英信

(林業技術コース令和元年度卒)

『マジで!?』これが以前の職場を離れる時の周りの声でした。辞めることよりも、なぜその職業に!?という驚きがほとんどでした。

林業を目指した一つに、よく『高知は自然が豊か』と言われますが、『豊か』というのは、保護と利用が両立されてこそだと思っています、だからこそ林業という自然を相手にする仕事が必要だと考えているからです。

林大に入り、夢に向かって輝いている仲間に出会えたこと、卒業してからも連絡を取り合える横のつながりができたことは、今では貴重な財産になっています。

いつか耳にする、活躍している林業従事者が、高知林大の卒業生であることを夢に、そして『り、林業!!えいねえ!!』と言われるよう、こういう時だからこそ、変化を前向きに捉える姿勢を忘れずに取り組んでいきます。



林大のおかげで今の私がある

竹川 展弘

(木造設計コース平成30年度卒)

早いもので、林大を卒業してから、もう1年半になります。まだまだ仕事に余裕のある状況ではございませんが、林大精神で頑張っています。

ZCO法人サウンドウッズでは粗く言ってしまうと林業の立場から建築側に向けて営業活動をしたり、建築士事務所の立場から林業職の方と通訳したりしています。



今携わっている事業では三千五百㎡程度の原木が必要な庁舎建設の木材調達の支援をしています。

林業・建築両方を横断した知識が必要ですし、林大の先生も何人も事業に関わっていてやり取りさせていただいており、人脈も大いに生きています。林大のおかげで今の私がある。そのことを胸に留め、日々を頑張っています。

令和2年度同窓会役員会の報告

令和2年度同窓会役員会を11月

14日(土)に高知市内で実施し、本同窓会会報や同窓会規約の改正、欠員となっていた第三期役員選出、同窓会総会の実施の可否について協議しました。

改正された規約は林業大学校ホームページに掲載しておりますので、そちらをご確認ください。

また今年度はコロナ禍の影響で同窓会総会を実施致しませんが、各自の開催は問題ありませんので、是非とも積極的に旧友を深めてください。この会報が会員の皆様の励みになるとともに、新たな交友を育むきっかけともなるよう願っております。



同会役員の紹介

- 会長・芦田 広記 (一期)
- 副会長・西森 貴弘 (二期)
- 副会長・川崎 倫央 (三期)
- 大岸 卓也 (二期)
- 大瀬 良勇一 (二期)
- 川村 耕大 (三期)
- 飯干 貴広 (四期)
- 森澤 勉 (四期)
- 塙 賢治 (五期)
- 佐山 速基 (五期)

林業大学校同窓会名の募集

現在、当会報では林業大学校同窓会名を募集しております。

同窓会名が決定しましたら、以後の会報はその名での発行となります。採用された方には粗品をご進呈致しますので、皆様奮ってご応募いただけますよう、何卒よろしく願います。

応募期限：令和3年3月31日

応募先Email

kouji.iwasaki@ken4.pref.kochi.lg.jp

編集後記

寒い日が増え、冬を感じる季節となりました。気温が下がると暖かい食べ物や辛いもののおいしく感じる気がします。

さて、まずは急な要請にもかかわらず原稿をお寄せくださった皆様に心よりお礼申し上げます。

本会報が皆様の働く活力になれば幸いです。

林業大学校ではホームページでも卒業生の皆様の活動について報告を載せていきますので、そちらについても是非ともご覧ください。

年の瀬が近づき何かと気ぜわしい毎日ですが、体調を崩さないよう、元気で過ごしてください。

林業大学校教務課

岩崎 工司